

「自由律俳句に詠まれた出会いと別れ」展示資料一覧

	名称	作者・編者等	出版社	年月
1	【半紙】 まつすぐな道でさみしい 山頭火作	大山澄太		
2	【色紙】 まつすぐな道でさみしい 山頭火句	那須正幹		
3	【短冊】 柳ちるそこから乞ひはしめる	種田山頭火		
4	『層雲』 第二十三巻第十号	小澤武二	層雲社	昭和9年2月1日
5	【短冊】 山頭火もこれからまた一人	種田山頭火		
6	【短冊】 うしろ姿のしぐれてゆくか 山頭火句	近木圭之介		
7	【色紙】 雪ふるひとり／＼ゆく 山頭火作	大山澄太		
8	【短冊】 これから旅も春風の行けるところまで	種田山頭火		
9	【額装】 この道しかない春の雪ふる 山頭火句	秋山 巖		平成11年
10	【短冊】 この道しかない一人であるく	大山澄太		
11	【短冊】 目ざめて枕もとの柏におう旅とおもう	荻原井泉水		
12	『層雲』 第三十巻第八号	小澤武二	層雲社	昭和15年12月1日
13	『層雲』 第三十巻第十号（山頭火追悼特集）	小澤武二	層雲社	昭和16年2月1日
14	【短冊】 あごのひげのいゝ山頭火だった また来てくれる筈だった	近木黎々火		
15	【短冊】 焼酎に酔ひ旅にあり山頭火	河村玲波		
16	【色紙】 何を求める風の中ゆく 山頭火句	富永鳩山		

いずれも山頭火ふるさと館蔵